

## 領域「人間と社会」

### 領域の目的

1. 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
2. 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
3. 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
4. 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。
5. 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

授業科目	介護保険制度と障害者自立支援制度		授業形態	講義	単位数	1単位	
担当者	伊藤和雄						
ナンバリング	W21L201	開講時期	前期	授業時間数	30時間	授業回数	15回
必修・選択	介護福祉士受験資格：必修			実務経験のある教員による授業科目		該当する	
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。						○
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。						
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)幼児教育および介護福祉に関する専門領域の知識や理論を学習させる。						○
	(2)幼児教育および介護福祉に関する技能を学習させる。						
	(3)上述の理論的な側面と技術的な側面を、実習を通して体系的に統合させる。						
	(4)共通の核となる能力を考慮しながら、学生個人の特性や持ち味を生かした学習をさせる。						
授業の概要・方法	社会保障制度の概要を理解するとともに、介護保険制度及び障害者自立支援制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しや背景、目的及び基本的視点を理解したい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度の意義を説明できる。</li> <li>・介護保険制度と障害者自立支援制度を説明できる。</li> <li>・両制度の活用の仕方を説明できる。</li> <li>・「コミュニケーション能力」(1)「人間や人間の生活、社会についての知識・理解」を身につける。</li> </ul>						
授業計画	第1回	テーマ	社会と生活の仕組み①				
		内容	生活の幅、生活の基本機能、ライフスタイルの変化				
		授業時間外学修	予習： シラバスを熟読し、授業のイメージを膨らませる。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第2回	テーマ	社会と生活の仕組み②				
		内容	家族の機能と役割、社会・組織の機能と役割、地域の機能と役割、社会構造の変容を学ぶ。				
	第3回	授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
		テーマ	地域共生社会の実現に向けた制度や施策①				
	第4回	内容	地域福祉の発展、地域共生社会を学ぶ。				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
		テーマ	地域共生社会の実現に向けた制度や施策②				
	第5回	内容	共生社会を学ぶ。				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
		テーマ	社会保障制度①				
	第5回	内容	社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達を学ぶ。				
授業時間外学修		予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。					
第5回	テーマ	社会保障制度②					

6 回	内 容	日本社会保障制度のしくみの基礎的理解、現代社会における社会保障制度を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 7 回	テーマ	高齢者保健福祉と介護保険制度①
	内 容	高齢者保健福祉の動向を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	高齢者保健福祉と介護保険制度②
第 8 回	内 容	高齢者保健福祉に関連する法体系を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 9 回	テーマ	高齢者保健福祉と介護保険制度③
	内 容	介護保険制度を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	障害保健福祉と障害者総合支援制度①
第 10 回	内 容	障害者保健福祉の動向学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 11 回	テーマ	障害保健福祉と障害者総合支援制度②
	内 容	障害者保健福祉に関する法体系を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	障害保健福祉と障害者総合支援制度③
第 12 回	内 容	障害者総合支援制度を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 13 回	テーマ	介護実践に関連する諸制度①
	内 容	個人の権利を守る制度、施策を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	介護実践に関連する諸制度②
第 14 回	内 容	保健医療に関する制度、施策を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 15 回	テーマ	介護実践に関連する諸制度③
	内 容	貧困対策・生活困窮者に関する制度・施策、地域生活を支援する制度・施策を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。

	第 16 回	定期試験
教科書・テキスト	介護福祉士養成講座「社会の理解」（中央法規出版） 適宜資料を配付する。	
参考書・参考資料等	介護福祉士国試ナビ（中央法規出版） 版介護福祉養成講座全巻（中央法規出版）	
成績評価の方法・基準	筆記試験と提出してもらった課題レポートにより、領域「人間と社会」に関する理解の程度(60%)、「コミュニケーション能力」(1)の獲得の程度(25%)、授業参加度(15%)で評価する。	
課題に対するフィードバックの方法	定期試験については、採点后講評する。	
授業時間外学修	予習(各授業 30 分)、復習(各授業 30 分)として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習（1 日 90 分）	
備考	実務経験のある教員による授業科目である。 介護老人福祉施設で 26 年間介護業務、相談援助業務、介護計画作成者として実務経験を持つ。 その経験を踏まえ、具体的事例を交えて理解できるようサポートする。	
連絡先（質問等）	オフィス・アワー 火曜日 12 時 25 分～12 時 55 分 その他、授業前後に、教室にて質問を受け付ける。 対面での質問・回答を優先したいので適宜応じる。	

授業科目	社会福祉演習		授業形態	演習	単位数	2単位	
担当者	伊藤和雄、宮地康子、松田水月、荒木隆俊						
ナンバリング	W52S202	開講時期	前・後期	授業時間数	60時間	授業回数	30回
必修・選択	介護福祉士受験資格：選択			実務経験のある教員による授業科目		該当する	
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。						○
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。						○
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)幼児教育および介護福祉に関する専門領域の知識や理論を学習させる。						
	(2)幼児教育および介護福祉に関する技能を学習させる。						○
	(3)上述の理論的な側面と技術的な側面を、実習を通して体系的に統合させる。						
	(4)共通の核となる能力を考慮しながら、学生個人の特性や持ち味を生かした学習をさせる。						
授業の概要・方法	介護実践に必要な知識を習得する。国家試験の受験対策を主とする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉職としての介護福祉士の知識を習得する。</li> <li>「学び続け、成長し続ける能力」(2)「実践の経験を再編成して、専門的知識・理解・技術へと高めることができる」能力を身につける。</li> </ul>						
授業計画	第1回	テーマ	国家試験対策				
		内容	人間と社会の領域科目①				
		授業時間外学修	予習： シラバスを熟読し、授業のイメージを膨らせる。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第2回	テーマ	国家試験対策				
		内容	人間と社会の領域科目②				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第3回	テーマ	国家試験対策				
		内容	人間と社会の領域科目③				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第4回	テーマ	国家試験対策				
		内容	人間と社会の領域科目④				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第5回	テーマ	国家試験対策				
		内容	介護領域科目①				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第6回	テーマ	国家試験対策				
		内容	介護領域科目②				
		授業時間外学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。				

第 7 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	介護領域科目③
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 8 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	介護領域科目④
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 9 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	こころとからだのしくみ領域科目①
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 10 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	こころとからだのしくみ領域科目②
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 11 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	こころとからだのしくみ領域科目③
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 12 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	こころとからだのしくみ領域科目④
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 13 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第一回模擬試験問題の解説①
	授業時間外 学修	予習： 不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 14 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第一回模擬試験問題解説②
	授業時間外 学修	予習： 不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 15 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	医療的ケア領域①
	授業時間外 学修	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 16 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	医療的ケア領域②
	授業時間外	予習： テキストの関連部分(指示)を読む。

	学修	復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 17 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問①
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 18 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 19 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 20 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 21 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 22 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 23 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 24 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 25 回	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 29 回国家試験過去問②
	授業時間外 学修	予習： 国家試験過去問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 26	テーマ	国家試験対策
	内 容	第 2 回模擬試験解説①

	回	授業時間外 学修	予習： 不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 27 回	テーマ	国家試験対策
		内容	第2回模擬試験解説②
	第 28 回	授業時間外 学修	予習： 不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
		テーマ	国家試験対策
	第 29 回	内 容	第29回国家試験過去問②
		授業時間外 学修	予習： 国家試験問題の解説を読む。 復習： 授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 30 回	テーマ	国家試験対策
		内 容	これまでの授業の振り返り、ワークシートを用いまとめを行う。
	第 31 回	授業時間外 学修	予習： 既習内容を振り返り、疑問点、理解不足の点をまとめる。 復習： 疑問点、理解不足の点について既習内容を確認する。
		第31回	定期試験
	教科書・テキスト	介護福祉士養成講座全巻（中央法規出版） 介護福祉士国試ナビ（中央法規出版） 適宜資料を配布する。	
参考書・参考資料等	介護福祉士国家試験過去問題集（中央法規出版） 介護福祉士国家試験模擬問題集（中央法規出版）		
成績評価の 方法・基準	講義内容の理解を確認する模擬試験等により、4領域(人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア)に関する理解の程度(60%)、「学び続け、成長し続ける能力」(2)獲得の程度(25%)、授業参加度(15%)で評価する。		
課題に対する フィードバックの方法	定期試験については、採点后講評する。		
授業時間外学修	予習(各授業回30分)、復習(各授業回30分)として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習(1日90分)。		
備 考	実務経験のある教員による授業科目である。 伊藤は、介護老人福祉施設で26年間介護業務、相談援助業務、介護計画作成者として従事した実務経験を持つ。 宮地は、病院、介護老人福祉施設で9年間看護師として従事した実務経験を持つ。 松田は、病院、公的機関で9年間看護師、保健師として従事した実務経験を持つ。 荒木は、介護老人福祉施設で11年間介護業務等に従事した実務経験を持つ。 その経験を踏まえ、具体的事例を交えて理解できるようサポートする。また、各教員連携をとりながらサポートする。		



<b>連絡先（質問等）</b>	オフィス・アワー 伊藤：火曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 宮地：月曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 松田（水）：月曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 荒木：月曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 その他、授業前後に、教室にて質問を受け付ける。 対面での質問、回答を優先したいため適宜応じる。
-----------------	---